

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

- 「夢と希望」、「自信と誇り」をはぐくむ教育の実践・継続を図る。
- 学力向上の基盤となる「生徒と教師の信頼関係」を構築する。
- 主体的・対話的な深い学びを追求する。
- 生徒が生涯にわたって生きて働く真の学力を身につけるために、Grit（やり抜く力）をつけさせる。

＜本年度の学力向上策＞

- 学力向上の基盤（落ち着いた場と心を育てる）をつくるため、6つの行動目標を徹底する
 - ① さわやかなあいさつと返事 ② 校歌を大切に歌う ③ 靴のかかとをそろえる ④ けじめをつける ⑤ 時間を大切にする ⑥ 掃除をする
- 6つの視点に立った授業改善を進める
 - ① 生徒との信頼関係を築く ② 授業のねらい、目標をはっきりする
 - ③ 生徒の興味・関心、やる気を高める ④ 価値ある活動の時間を多くとる
 - ⑤ 生徒一人ひとりに応じている ⑥ 学習への満足感・達成感がある
- 授業者は「6つの視点」に基づいて指導略案を作成し、参観者は「6つの視点」に沿って参観し、3行感想をもとに簡単な研究協議を行う。
- 学校全体で授業を参観し合う雰囲気醸成し、取組みを工夫する。

＜本年度の振り返り＞

- 6つの行動目標では、生徒アンケートで、6つの行動目標が1学期の最初と比べ、2学期の終了頃には3つの学年全体として、3.1%の伸びを示し、学力向上の基盤が徹底されてきた。
- 6つの視点に立った授業改善では、教職員アンケートで、「生徒の興味・関心・やる気を高めるための工夫」と「ねらいに迫る価値ある活動の時間を多くとる」という「主体的で対話的な深い学び」につながる視点が中心に取り組みられ、各教科の特性が生かされ、授業見学では他教科にとって参考になることが多いという意見が多く見られた。良い授業アンケートで因子4の生徒活動のポイントが0.2p上昇し、授業力の向上とともに生徒の学力向上につながった。
- 教員全員が指導案（略案）を作成し、公開授業を実施することができた。授業見学も昨年より上がり、約6割の先生方が3回以上見学できる結果となったが、協議が3行感想だけになる課題が残った。
- Grit（やり抜く力）として、各生徒が夏休みに各々の目標を掲げ、成果をあげることができた生徒が多かった。来年度は、Grit（やり抜く力）に加えて、Growth（自分を伸ばす力）、Global（多様性を受け入れ協働する力）を各教科・領域の指導案等に組み込めるように、検証しながら、取り組んでいく。

